

「令和4年度立川市・昭島市スポーツ推進委員実技交流会」 蘭田 有司（拝島第一小・10期目）

「わぁー、当たった、当たった」「なんで、当たらないの」「すごいぞ！ダブルだ」

こんな歓声が飛び交う中、昭和公園自由広場で「立川市・昭島市スポーツ推進委員実技交流会」を開催しました。

晴天に恵まれた3月4日（土）、今回の交流会実技種目は「クッブ」でした。

クッブ競技は、投てきの標的となるベースクッブやフィールドクッブを巡る、一進一退のハラハラドキドキする攻防が試合を盛り上げました。



その競技の名称ともなっている「kubb」は、スウェーデン語で「薪（まき・たきぎ）」を意味します。



1チームは6人編成とし、2チームの対抗戦です。コートの大さは8×5メートルで、中央に「キング」を立てます。すべてのクッブを倒した後、この「キング」を倒したチームが勝利となります。

今回の交流会には立川市から17人、昭島市から19人の参加がありました。チーム編成は両市混合で6チームを作り、各チームは様々な作戦を立てて熱戦が繰り広げられました。

交流会終了後の反省会では、どのようにすれば多くの市民の参加が得られるか、長時間をかけて討論しました。

東京都市町村ポッチャ大会を開催 昭島市代表の「ボーダーズ」が3位入賞

ポッチャ昭島カップで優秀な成績を収めた「ボーダーズ」チームは、本年1月28日に立川で行われた東京都市町村ポッチャ大会で、見事に3位に入賞し、次のようなコメントをいただきました。

「皆さん、応援をいただきまして本当にありがとうございます。是非、もう一つ上の成績を目指して頑張りたいと思っています。ポッチャ、本当に楽しいですよ！」



令和4年度下期の主な活動

- 10月10日 スポレクフェスティバル
- 10月15日 ポッチャ体験会
- 10月22日 ポッチャ体験会
- 10月30日 広域地区別研修会
- 11月5日 ポッチャ体験会
- 11月19日 ポッチャ体験会
- 12月3日 ポッチャ体験会・実務研修会
- 12月17日 東京都障害者スポーツ

セミナー

- 1月21日 ポッチャ体験会
- 1月28日 東京都市町村ポッチャ大会

編集後記

新型コロナウイルス感染症の位置づけが令和5年5月8日から「5類感染症」になりました。マスクの着用が個人の判断に委ねられることとなり、徐々にマスクを外して歩く人が増えてきました。体育祭やスポーツイベントなどもマスクなしで実施されるなど、少しずつ元の生活に戻りつつあります。コロナ禍において鈍った体を、ちょっとずつ動かし良い汗をかいてみてはいかがでしょう。

編集委員 小川・牧・廣光・

川口・細井